

## 第3章

## 3章 景観まちづくりの基本理念・基本方針

現地調査や町民アンケート調査、町民ワークショップ、景観計画策定委員会等の結果を踏まえて整理した、中富良野町の景観特性と課題等から、以下のように中富良野町の景観まちづくりの基本理念と基本方針を整理します。

### 1. 基本理念

**十勝岳・芦別岳からつづく丘陵地に抱かれた四季折々の自然景観と富良野盆地に息づく穏やかな文化景観を未来につなぐ**

### 2. 基本方針

#### 1 山々からつづく丘陵地や森、水辺の自然環境を大切にした景観づくり

- ◆ 周囲を取り囲む丘陵地の森や、低地を流れる富良野川、ベベルイ川など、中富良野町には豊かな自然環境が広がり、その背景には大雪山十勝岳連峰や夕張山地芦別岳などの山々を望むことができます。
- ◆ これらの自然は町民にとってのふるさとの風景であり、中富良野町の産業を支える資源でもあります。
- ◆ このような重要な要素である季節毎の自然環境を守り、生かし、大切にした景観づくりを進めます。



#### 2 開拓の歴史を物語り、中富良野町の豊かさの象徴となる田園景観づくり

- ◆ 明治以降の開拓により碁盤目状に区画された水田や、区画に沿って流れる用水路が、開拓期の先人の歩みを物語り、背景の山並みと一体となって四季折々変化する富良野地域独特の特徴的な田園風景をつくりだしています。
- ◆ 近年は水田の他にも畑作も広がりを見せ、様々な表情が組み合わされた新たな田園風景が創られています。
- ◆ 開拓期の先人の歩みを物語りつつ、持続的な農業に支えられた中富良野町の豊かさの象徴として、田園景観の保全・活用を図ります。



#### 3 東西の山並みを背景に、田園景観と調和した住み心地の良い市街地景観づくり

- ◆ 大雪山十勝岳連峰や夕張山地などの山々や丘陵部の樹林を背景に、田園地域の中にコンパクトに形成されている中富良野町の市街地は、町民の暮らしや営み、歴史を感じさせる町の顔となっています。
- ◆ 国内外の来訪者に中富良野町の良好なイメージを持ってもらえるようにするとともに、クリーンで町民にとって居心地がよく、誇りと愛着の醸成につながるような市街地景観づくりを進めます。



#### 4 来訪者を迎え入れるおもてなしの景観づくり・沿道景観づくり

- ◆ 中富良野町には、ラベンダー畑や豊かな自然環境により、多くの観光客が訪れます。
- ◆ また、富良野地域全体での広域観光も定着しており、広域につながる国道や道道などの幹線道路、鉄道は、周辺市町村との観光資源等を繋ぎ、広域的に魅力的な景観が広がるイメージを高める重要な要素です。
- ◆ 観光資源が集積し多くの来訪者が訪れる北星山周辺や駅を中心としたおもてなしの景観づくりと、国道や道道、鉄道の沿道景観づくりを進めます。



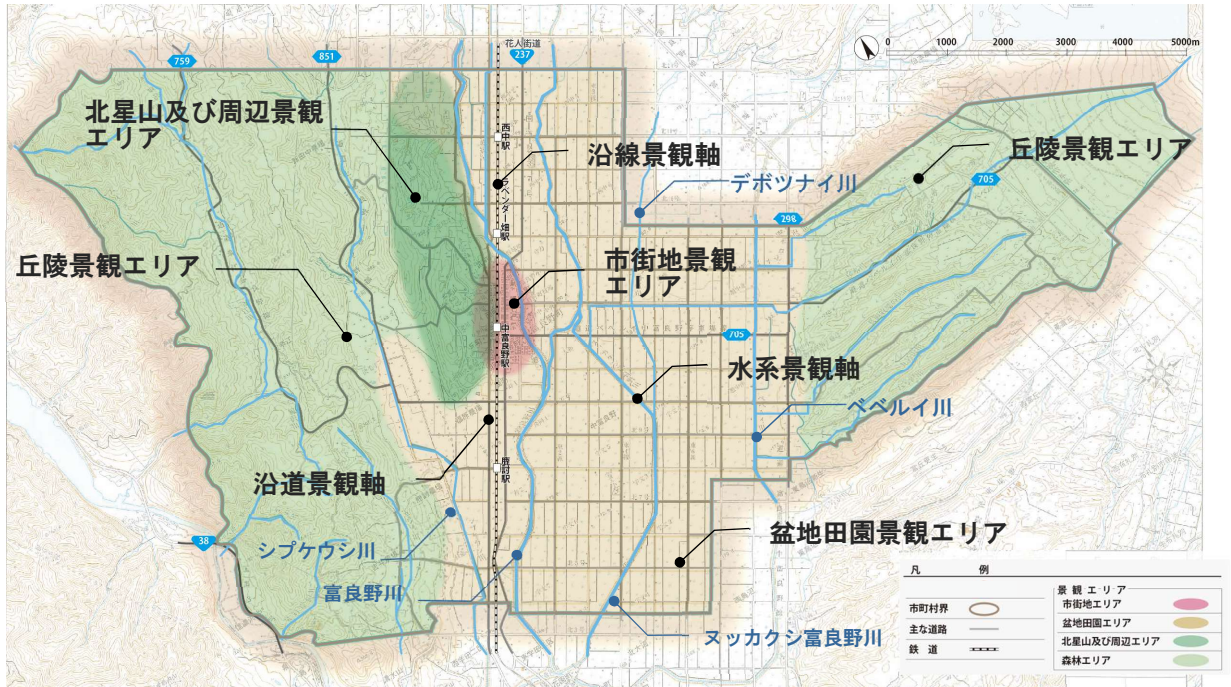
#### 5 連携・協働による中富良野町の良さを最大限に引き出す景観づくり

- ◆ 中富良野町では、自然環境の保全、景観形成や環境教育などを目的とした植栽活動、花いっぱい運動、ごみ拾い、四季を通じた様々なイベントなどの取組が活発に行われ、町民による景観づくりが進められています。
- ◆ これらの主体や取組が、共通の将来像を見据えて連携・協働し、中富良野町ならではの自然や歴史文化・産業の特徴を最大限に引き出すことで、他には無い景観づくりに繋がります。



### 3. 景観計画区域

本計画の景観計画区域は町全域とし、地域特性をもとに4つの面的景観と3つの軸的景観に分類し、景観の在り方を検討しました。



#### <面的景観>

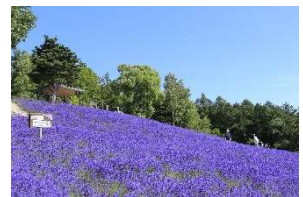
##### ■ 市街地景観エリア

JR 中富良野駅周辺から富良野川辺りまでのコンパクトなエリア。開拓とともに築かれた暮らしの拠点となっているエリア



##### ■ 北星山及び周辺景観エリア

ラベンダー畑やペンションなどが集積し、景観を活かした観光地と居住地として発展している北星山を中心としたエリア



##### ■ 盆地田園景観エリア

町内中央の広い範囲を占める低地に、碁盤目状に区画された水田や畑が広がり、農家が点在して散村を形成しているエリア



### ■ 丘陵景観エリア

町の西側と東側に位置する丘陵地のエリア。丘陵地に森林と畑地・草地在るエリア



#### <軸的景観>

### ■ 沿道景観軸

国道 237 号、道道 759 号、851 号、298 号、705 号、基線（町道）により構成される景観軸



### ■ 沿線景観軸

JR 富良野線により構成される景観軸



### ■ 水系景観軸

富良野川やベベルイ川、農地の開拓とともに形成された用水路などにより構成される景観軸



## 4. 地域ごとの景観まちづくり方針

中富良野町の景観特性、景観まちづくりの基本理念・基本方針を踏まえて、中富良野町に調和した良好な景観を育んでいくための方向性を、景観まちづくり方針として設定します。景観まちづくり方針は、5つの地域と3つの軸ごとに以下の通り整理します。

### ① 市街地景観エリア

- ・ 中富良野町のシンボルである大雪山十勝岳連峰や夕張山地芦別岳への眺望を大切にしながら、コンパクトでクリーンな住み心地の良い景観づくりを進めます。
- ・ 建物や工作物のルールづくりのほか、公共施設の再整備と連携した居心地の良い景観づくり、商店街振興と連携した賑わいの景観づくり、軟石や煉瓦倉庫群などを活用した、地域の歴史文化を感じさせる景観づくりを推進します。

### ② 盆地田園景観エリア

- ・ 背景の夕張山系・大雪山系の山並みと一体となった低地部は、中富良野町はもとより北海道を代表する雄大な田園景観となっています。
- ・ 農地区画の拡大や農道・用排水路等の整備など、農業振興策との連携や、散居状に点在する農家住宅・屋敷林・付帯施設等の景観整序を行うことで、開拓の歴史を物語る碁盤目状の印象的な田園景観を保全します。

### ③ 北星山及び周辺景観エリア

- ・ ラベンダー畑や山並み・田園への眺望を活かした多くの来訪者が訪れる観光エリアで、中富良野町のブランドイメージを形成する重要な地区です。経済振興と景観の維持・向上の両立を図りながら、当エリアにふさわしい景観づくりを進めます。
- ・ 特に、JR中富良野駅から北星山周辺は、中富良野町の玄関口として、さらなる観光拠点としての充実が望まれている地区であり、観光まちづくりと連動した景観形成により、さらなる魅力向上を推進します。

### ④ 丘陵景観エリア

- ・ 森林施策や農業施策と連動し、森林・草地・畑地が組み合わさり形成された緩やかな曲線を描く印象的な丘陵景観の保全に努めます。
- ・ 特に、市街地や国道から見渡すことのできるフリンジ景観（丘陵と平地の境界となる斜面地部分で、山裾の見え方。）に配慮した景観づくりを進めます。

### ⑤ 沿道景観軸

- ・ 国道をはじめとした主要な道路からは、近景の田園風景、中景の丘陵地、遠景の十勝岳や芦別岳などの山並みといった盆地の広がりのある眺望や、丘陵地・沢地の地形に沿って様々に移り変わるシーンを望むことができます。
- ・ こういった沿道景観の妨げとならないよう、沿道の建物、工作物、屋外広告物、サイン類のルールを設けることで、美しい沿道景観づくりを進めます。
- ・ また、周辺市町村とつながる広域観光の視点で、一体的な魅力づくりに貢献します。

## ⑥ 沿線景観軸

- ・ 中富良野町の中心部を通る JR 富良野線の車窓からは、周辺の田園風景や丘陵地、山並み、市街地など、中富良野町の特徴とも言える多様な景色の移り変わりを楽しむことができます。また、JR 富良野線沿線の道路や周辺の地域からは、田園風景や一面の雪景色の中を1両で走る車両の印象的な風景を望むことができます。
- ・ こういった沿線景観の妨げにならないよう、沿線の建物、工作物、屋外広告物、サイン類のルールを設けることで、車窓から及び車両への美しい景観づくりを進めます。

## ⑦ 水系景観軸

- ・ 周辺の山々から富良野盆地へと流れをつくり、生物多様性の一部となっている多くの河川と、低湿地を農地へと転換してきた開拓の歴史を物語る碁盤目状の農地と一体となった用排水路の景観の保全と活用を進めます。
- ・ 河川や用排水路にかかる橋梁から望む水辺景観を保全と、アイストップとなる橋梁等の工作物が、周辺環境と調和した景観づくりを進めます。

